

機能
バックアップ
首都

P.T設置、初会議

誘致、国に働きかけへ

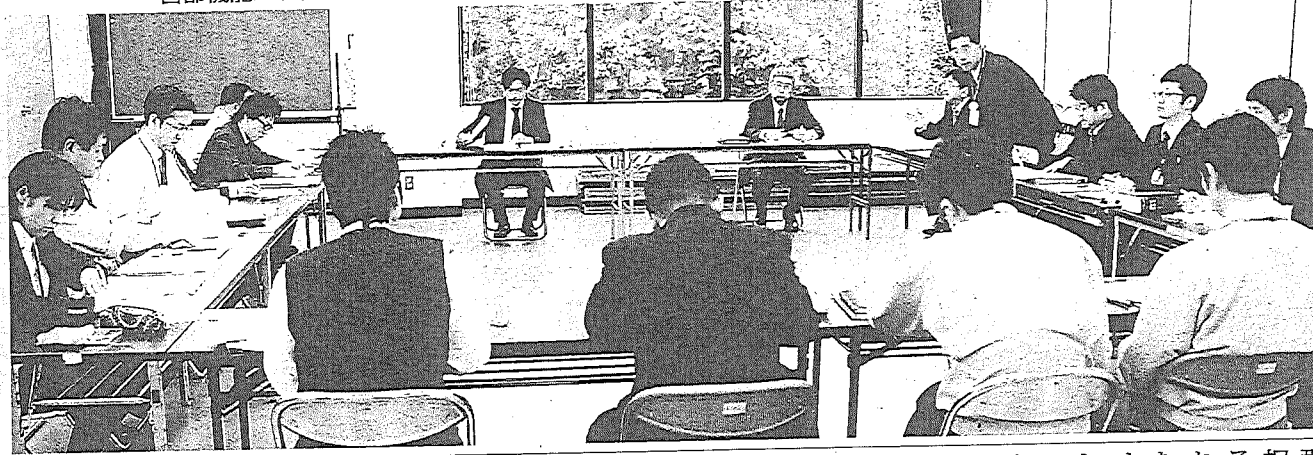
針だ。

企画情報課の藤田輝夫課長をリーダーに、防災、都市計画、再生

可能エネルギーなど関係部から若手職員を含む17人で構成。この日は渡辺泰之副

那須塩原市は26日、首都直下地震に備えた「首都機能バックアップ・キャンプ那須構想策定プロジェクトチーム」策定のための庁内プロジェクトチーム（P.T）を設置し、初会議を開いた。9月を目標に構想をまとめ、バックアップ機能を担う施設の誘致を国へ働きかける方

首都機能バックアップ・キャンプ那須構想策定プロジェクトチームの初会議—那須塩原市役所で



市長が出席。災害時の初動期（おおむね3週間）に首都機能をバックアップする施設の誘致案をたたき台として提案した。施設は、平時には政府官庁が外国の要人との会談に使う迎賓館施設「キャンプ那須」としての役割を担うことも示している。渡辺副市長は「これにどうわれず、自由な発想で市の素晴らしさを説得できる案を出してほしい」と促した。候補地は東北自動車道の西那須野塩原インターチェンジ近くの国公有地が見込まれている。阿久津憲二市長は「予定地は国の緊急時に貢献できる最大基地。地域ブランドのイメージアップに

もなる」などのメリックトを強調。市の魅力や可能性をアピールし、
実現に結び付けたい
考えた。
【柴田光二】